



家族の絆の回復。教育の原点、聖書に立ちかえる体験。

★北欧調リゾートホテルで和洋中60種類以上のバイキング

★11種の温泉・お風呂

★徹底学習（約50の基調講演・分科会）

★家族・教育の目的、情報、励ましとチャレンジが与えられます！

★家族・チャーチスクール・仲間との一生の思い出！

主講師：テッド&マージー・トリップ博士夫妻

Dr. Tedd & Margy Tripp

「聖書が教える親と子のコミュニケーション」著者。同氏の「心を育む教育ミニストーリー」は代表的な子育てセミナーとして世界的に用いられている。グレイス・フェローシップ・チャーチ主任牧師。マージー夫人との間に3人の子どもがおり、9人の孫がいる。1979年にインマヌエル・クリスチャン・スクールを創設。

テッド博士は、30年近くにわたって、牧師、カウンセラー、チャーチスクール校長、理事、そして父親として、多くの家族に価値ある助けを与えてきた。マージー夫人は、妻、母、同校理事として、全米を代表する子育てセミナーの展開を支えてきた。



テッド&マージー・トリップ夫妻とそのご家族



## 「聖書が教える 親と子のコミュニケーション」 テッド・トリップ博士 著

**1600円** (税抜き) !

=目次より=

【第一部】 聖書的な子育ての土台

- ・行いの奥にあるもの ・子どもの成長 ・責任者なのです
- ・目標を吟味する ・目標を見直す ・非聖書的な方法を捨てる
- ・聖書的な方法 ・心を養い育てる

【第二部】 成長段階に応じた子育て

- ・幼児期から幼年期 ・児童期 ・ティーンエイジャー

講演予定：**テッド・トリップ博士**

聖書が教える親と子のコミュニケーションセミナー

### 基調講演①

「間違いを正すことに焦点を合わせず、聖書的な考え方を身に付けさせる教育への召し-申命記6章」

成長を促す教育とは、子どもたちに聖書的な考え方を身に付けさせる教育です。子どもたちが、聖書に記された神の啓示に全人生を根付かせていけるよう指導していきます。成長を促す教育は、間違いを正すことには焦点を合わせていません。フォーカスすべきは、人生を聖書的に解釈し、それに応答していく方法を提供することです。

### 基調講演②

「矯正手段としてのしつけ-コントロール・制約ではなく、神の真理の強調と聖書的なコミュニケーション」

子どもたちが何か間違った行為をした時、矯正手段としてしつけが行われます。ガラテヤ人への手紙6章が示しているのは、聖書が教える種まきと刈り取りの原則です。親は、子どもの行動をコントロールしたり制約したりして、結果を得ようとすべきではありません。そうではなく、神のことばが持つ永続的な真実を強調していく方法を学んでいくべきです。箴言は、人生にまつわる真理を子どもたちに教え、聖書的なコミュニケーション方法を与えてくれます。

### 分科会 1

●「家族とは？-あわれみ・贖い・恵みの体験コミュニティ」

クリスチャン家族というのは、神の教えを学びつつ、神の栄光を表していく学びのコミュニティのような場とも言えます。また、子どもたちが他者と一緒に生活をしながら愛することを学んでいく、社会

学の学習コミュニティとも言えるでしょう。さらに、キリストの愛と救い、贖いを学んでいく学習センターとも呼べます。罪を犯し、あるいは罪を犯される中で、親子が共に立ち、許し、許されていく、贖いの恵みを経験していく場なのです。

## 分科会 2

### ●「自由奔放な意思決定者ではなく、神の権威の下にある喜びの生活－エペソ 6章」

今日の社会では、権威とは圧倒的な力から生じるもの、もしくは本人の同意があって初めて生まれてくるものだと考えます。権威の本質について、十分理解せず、ある人が権威を持つこと、あるいは他の人が誰かの権威の下にあることが良いことなのか、また適切なかどうか、よく分からない状況になりがちです。そうした中、親は無意識のうちに、子どもたちを、自由奔放で、何ものにも支配されない意思決定者に育て上げてしまいます。子どもたちは、誤った自由に欲望を抱き、誤った概念を持つようになっていきます。真の自由とは、神が定められた権威の下で喜びをもって生きることにあります。

## 分科会 3

### ●「行動の中心にある心を育てる－箴言 4：23 「いのちの泉はこれ（心）からわく」」

箴言 4章は「いのちの泉はこれ（心）からわく」と教え、ルカの福音書 6章は「人の口は、心に満ちているものを話す」と語ります。行動が心から出てくるのであれば、その人の心の内をしっかりと育てなければ、聖書的な行動をとれないし、分析できません。この教えは、子どもたちが道に外れた行動を取る時、心が既に迷い出ていることが反映されているのだとの洞察と子どもの行動理解に役立ちます。では、どのように心を育てていくのか、このセッションで見つめていきます。

## 分科会 4

### ●「ティーンエイジャー：生きた信仰として福音に生きる」

ティーンエイジャーとは、世代から世代へと信仰のバトンを渡していく時です。箴言 1章では、ティーンエイジャーが持つべき3つの土台について語っています。すなわち、主への恐れを抱き、両親の言葉を心に刻み、悪しき者から離れることです。この年代の子どもたちを成長させる上で、聖書的で豊かなコミュニケーションは重要です。ティーンに入った子どもたちとのつながりを維持し、彼らを理解することに喜びを見出すことが、鍵となってきます。

## 分科会 5

### ●「子どもたちが真実の神の栄光を見るために」

子どもたちは、礼拝する者たちです。真実に神を礼拝するかもしれないし、偶像を崇拝するかもしれませんが。彼らは礼拝する者として、自らの人生経験を霊的な目を通して眺めます。礼拝者である子どもたちは本来は、聖書の神に惹きつけられるように創られています。親の役目は、子どもたちが真実の神に引き付けられ続け、魅了され続けるように助け、導くことです。詩篇 145篇は、次の世代である子どもたちに神の素晴らしき御業を知らせ、受け継がせていくようにと、私たちの世代に召命を与えています。

## 講演予定：マージー・トリップ女史

### 基調講演

#### 「壊れやすい人間関係：キリストの視点からの理解」

今日、人間関係の崩壊に至る所で目にします。「見識がある」と思われた私たちの文化は、多くの家庭が結婚生活に失敗しているだけではありません。家庭は、子どもたちを育て保護するという、神が意図された使命から遠ざかり、傷を負っています。家庭でも社会でも、何かを築き上げるのではなく、破壊する関係となっています。キリストの体にあるクリスチャンの中でもノンクリスチャンの世界と同様に、壊れやすい人間的な交わりがあり、傷を広げています。私たちが人間関係で失敗するのは、関係を理解するために、神のことばに立ち返っていないためです。

このセッションでは、創造論の記述から明らかとなってくる愛の関係、コミュニケーション、神の目的について考えます。神の創造、人間の墮落、救い・贖いを見ながら、神がご自身の形に似せて人間を創られた、その完全なる設計・創造の意図をたどります。女性という立場（娘、姉妹、母親、友人、妻）から築き上げられる、この世での傷つきやすい関係は、イエス・キリストを通して築かれる神との関係を理解することで、劇的に導かれていきます。私たちはもはや何かを受けることを願う人ではなく、豊かに与える人になっていきます。それは、キリストにあって完全な者とされたからです（ピリピ2章／コロサイ3章）。

### 分科会 1

#### 「失望した時のために－神の働きへの理解と信頼」

土曜の朝、あなたはとっても良い気分で見目を覚まし、最高に肌触りの良いローブに身を包んでスリッパを履き、リビングに向かいます（子どもたちはまだ夢の中）。ところが、リビングの窓が一晩中開けっ放しになっており、新しく張り替えた美しい床が雨にぬれ、たわんでいるではありませんか！こんな時、真っ先に心に浮かぶ思いは何でしょうか。失望、自己嫌悪、怒り、落胆、心配…。

私たちが壊滅的な思いにさせ、神の愛と優しさに不信仰を抱かせる、人生を変えるほどの失望というものがあります。この分科会では、聖書がどのような観点から「期待すること」を見ているか学びます。神のみことばは、人生に起きるいかなる失望の中でも、どうすれば神を知り、受け入れ、愛することができるかを私たちに伝えていきます。失望してしまうと、期待しようとしてもうまくいきません。例えば、夫や妻、友人があなたを失望させます。あるいは、車の鍵を紛失したり、肉を焦がしたり、涙に暮れる悲惨な出来事を経験したり、私たちを無力にし、絶望に迫いやり、不信仰を抱かせる経験をしたりします。

しかし、助けがあります。人生で起こるあらゆる失望の中で、主権者なる父なる神は、ご自身の栄光と私たちの益のために働いてくださっていることを理解し、この神に信頼することです。

### 分科会 2

#### 「箴言 31 章に登場する女性」

何年も前に、箴言 31 章の聖句が書かれたトラクトを受け取ったことがあります。「素晴らしい女性をたたえて」と書かれていました。10 節には「有能な妻を見つけるのはどれほど難しいか」とありました。それで私はトラクトの最後に、こう書き記したのです。「これは実在する一人の女性のこと？それとも女

性の特徴を集めたもの？それぞれを見てみよう。こんなマージを達成できる？それって現実的？」。私はこのトラクトのタイトルと聖句に、非常に衝撃を受けました。私は、神が望んでいるような自分になりたいのです。しかし、どうすれば、それを達成できるのでしょうか！

それから何年もの間、私はこの聖句について考え、祈り、勉強しました。そして、神の御霊の働きによって成長し、私が最初に抱いた質問とは異なる方法でこの聖句を理解しようとしていました。尋ねるべきことは、「これは実在する一人の女性なのか、はたまた女性の特徴を集めたものなのか」ということではありませんでした。そうではなく、「箴言 31 章で神は一体、何をたたえているのか」ということだったので。10 節の正確な訳は、「高潔な性格の妻をだれが見つけることができよう」です。この美しい聖句の中で、神は崇高な性格を賛美しています。たくましさでもなく、賢さでもありません。敬虔な「性格」が称賛されているのであり、女性の「生産性」ではないのです！女性はよく、自分の人となりではなく、何をしたかで自分の成功を判断してしまいます。しかし、箴言 31 章で語られている女性像は、人格に根差したものです。何と安心することでしょう！内側の性質が、外側の行動を左右します。私の手の業は、心の中にあるものを表しているゆえに重要なのです。

この分科会ではこの前提に立って、箴言 31 章に表されている多くの人格を学んでいきます。それらの人格は、他の多くの聖書箇所でも具体化され、皆さんの人生で生まれ、一層与えられようとしている実在可能な人格です。

### 分科会 3

#### 「全体像 - 本当の性質」

幸福感というものは、その日が「良い日」だったか、「悪い日」だったかでまとめられるものでしょうか。何があれば「良い日」で、何があれば「悪い日」なのか。悲しいことに多くの場合、私たちを取り巻く環境が、私たちの心や気分、精神的な温度に影響を与えています。

どのような状況かに関係なく「良い」日を過ごすには、全体像を把握する必要があります！それは、神のみ言葉の中にあります。そこには豊かで深みのある全体像があり、神の主権の中で守られつつ、人生における異なるピースを見ることが出来ます。私たちは喜びと希望を持ちながら、どのような状況にあっても、堅く、そして力強く強く立つことのできる、堅固な地面を見つけるでしょう！

この分科会で核となるみ言葉は、詩篇 73 篇、第二コリント 2:4、その他の力強い聖句です。目には見えないけれども神が住んでおられる霊的な世界、そして私たちが霊的な目で見えて理解するようにと神が招いておられる霊的現実について、神のみ言葉は実例を提供してくれます。

### 分科会 4

#### 「子育て - 母の役割」

この分科会では、子どもの心を「養う」時に果たすべき母の役割を考えていきます。土台とする考えは、私の夫が書いた『聖書が教える親と子のコミュニケーション』と、私たち夫婦の共著『子どもの心を教える』です。多くの母親が、一人で何役もの役割を果たそうと頑張っています。家族の中で自分だけがクリスチャンという女性も多いでしょう。そういう家庭では、亭主関白な夫が聖書的でない生き方を決めてしまうか、あるいは、夫はほとんど家庭を顧みず、家庭のことは妻任せ、のどちらかではないでしょうか。多くの女性が口にするのは、夫が霊的な生活を送っておらず、霊的な頭としての役割を妻に任せているということです。こうした女性たちは多くの疑問を抱えています。聖書が教える子育て - 母の役割とは何か、神のみことばから考えていきましょう。